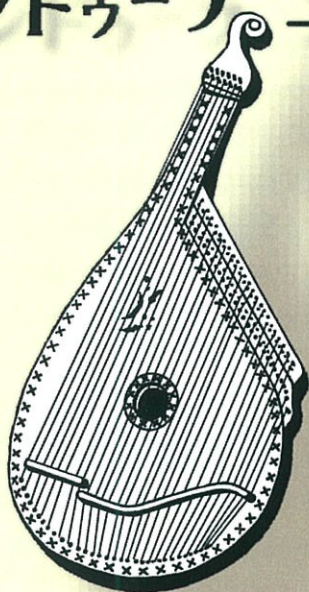


平和を願ひ

ウクライナの人々に思いを寄せる

カテリーナ バンドゥーラ コンサート



2022年7月10日

開演2時（開場1時半）

つくば 市民ホールとよさと

主催 カテリーナ“平和を祈る”コンサート実行委員会・つくば

後援 つくば市、つくば市議会

ごあいさつ

本日は“平和を祈る～カテリーナ バンドゥーラ コンサート”にご来場いただきありがとうございます。

遠く離れた日本に居ましても、連日報道されるウクライナの戦況報告に、心休まることはありません。

【私たちに今できることは何か…】

“心にしみ込むようなカテリーナさんの澄んだ歌声と、ウクライナの草原から吹いてくる風のようなバンドゥーラの響き”に耳を傾け、一人一人が深く思いを寄せあうことが最良の方法ではないかと思い至りました。幸せはどこかから、誰かが届けてくれるのでしょうか。当たり前前に食べ、眠り、おしゃべりを楽しみ、学び、自由に集うことが保障された日常の暮らしの中で「幸せだなあ～…」と、何気なく感じるものではないかと思うのです。

いつ何が起きても不思議ではない時代を、私たちは生きています。今日一日無事であったことに感謝し、毎日を大切に生きてゆきたいものです。 ～武力は命を、平和な暮らしを奪うもの～

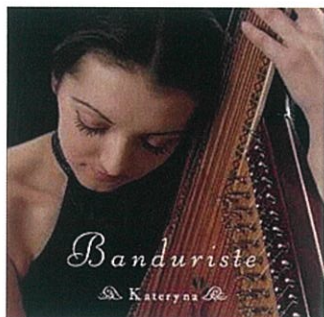
本日のコンサートが皆様の心に響き続け、記憶に残りますよう、実行委員一同、心より願っております。

どうぞごゆっくりお過ごしください。

カテリーナ“平和を祈る”コンサート実行委員会・つくば

代表 尾崎 秀子





カテリーナさんの紹介

ウクライナ民族楽器バンドウーラ奏者

ウクライナ・プリピャチ生まれ

(チョルノービリ原子力発電所から 2.5km
離れた町)

生後 30 日で原発事故により被災、一家は町
から強制退去させられる。

6 歳の時にチョルノービリ原発で被災した子供たちで構成された音楽団
「チェルボナカーナ」に入団して、海外公演に多数参加。

日本にも何度もコンサートに招聘され、その時に日本の素晴らしさに感動
し、19 歳の時に音楽活動の拠点を東京に移す。

現在、日本に 2 人しかいないバンドウーラ奏者の 1 人として、国内外のさ
まざまなコンサートで公演活動を展開中。

演奏予定 ; ♪ 幸せの鳥 ♪ 金色の花 ♪ ウクライナ ほか

カテリーナさんの想い

「戦争が起きてつらい。歌う時心の中の叫びを抑えるのがすごく大変。早く平和になってほしい」「日本にいる私には何もできない。いろいろな活動を通して、日本の人にウクライナのことや文化を知ってもらい、ウクライナに関心を持ってほしい」「戦争になって、2 国間の問題にとどまらない。みんなで力を合わせて、平和を」

カテリーナさんのウェブサイト

CD 情報や過去のコンサートなどの動画がたくさん。
年賀状まであります。



カテリーナさんの NHK コンサート

“ I Sing for My Homeland ”

NHK オンデマンドのサイト(英語版)です。



演奏曲目から

訳詞紹介



幸せの鳥

夜明けに飛んでくる鳥を撃たないで
あなたの最後の恋かもしれないから
その恋は夜を徹して飛んできた
白鳥なのかもしれないから
鳥を撃たないで お願い
あなたに届く幸せかもしれないから…

(3番の歌詞より抜粋)



金色の花

いくつもの朝を迎えた故郷で
母はマリーゴールドを植えながら
春のよろこびの歌を教えてくださいました
咲き誇る希望の歌を
マリーゴールドを見る度
いつも母を思い出す
あなたの手が目に浮かびます
あなたの優しさを感じます

(1番の歌詞)



曲目は状況により変更されることがあります

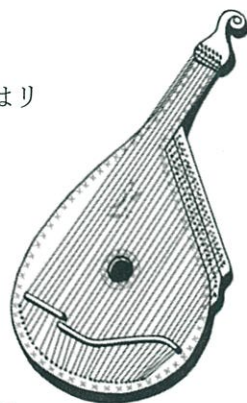
バンドゥーラ (Bandura)

ウクライナの伝統的な民族楽器バンドゥーラはリュート属に分類される、はじいて音を出す撥弦(はつげん)楽器です。左右対称ではなく片側に大きくふくらんだ形状と、50~70本という弦の多さが特徴です。重さは8kgもあり、ケースも合わせれば10kg近くになります。

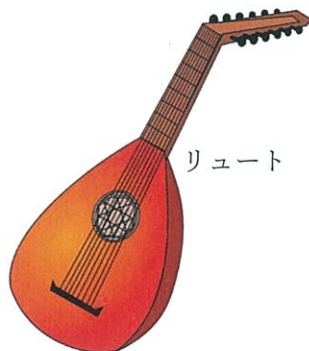
弦一本につき一音が、半音階で5オクターブにわたって調律されています。左手はネック部分の低音を、右手はサウンドホールのある広く平らな部分の高音を、それぞれ指や爪ではじいてメロディーを奏でます。左右の手を伴奏とメロディーに分けてひくピアノのようですね。歌の伴奏として演奏されることの多い楽器です。

その起源は6世紀にまで遡るといわれ、12世紀にはコブザと呼ばれる弦の数15~20本、重さ2~3kgほどの小ぶりの楽器でした。コブザの奏者「コブザーリ」は、多く盲目の男性で、弾き語りをしてながら各地を旅していたといいます。18世紀に半音階の弦や金属製の調弦レバーなどが付け加えられて、現在のバンドゥーラの形状に落ち着いたそうです。

ウクライナの人々にとってとても身近な楽器で、1980年代まで一家に一台バンドゥーラがあったといわれています。



バンドゥーラ



リュート



コブザ



ウクライナ 豆知識

土の王様：ウクライナはヒマワリや小麦、トウモロコシの大産地で、ヨーロッパのパンかごとともによばれます。この大産地をささえているのが、大平原の黒い土“チェルノーゼム”です。この黒土は養分や水をたくさん含んでいるので、小麦などを水やりも肥料もなしで永年生産できる“土の王様”です。小麦などをたくさん輸出してきた国ですが、一方では土の劣化も心配され、今は、戦争の影響で生産や輸出が滞って、世界中が影響を受けています。



絵本と民話：ウクライナの民話をもとにした『てぶくろ』、雪の日におじいさんが森で落としたりてぶくろに、森のいろんな生き物があつまって…。日本でも人気の絵本です。ウクライナの民話の本はほかにもたくさん出版されています。

刺繍：伝統的な刺繍“ヴィシヴァンカ”はウクライナの民族衣装の俗称で刺繍を施したシャツ。魔よけの意味があり、地域ごとに特有のパターンがあります。5月の第3木曜日はヴィシヴァンカの日で、世界中のウクライナ人の結束と愛国心を示すものとか。2015～16年には最新ファッションとして世界的にもはやされました。カテリーナさんの舞台衣装にも。



世界遺産：文化遺産は6つ。石造りの立派な建物などが多い中で、カルパティア地方の木造の8つの教会群は日本人の好みに合うかも。自然遺産は1つ。

料理：ボルシチはロシア料理だと思っている人が多いですが、元々はウクライナの家料理。ビーツの赤い色が特徴的です。餃子に似ているのはバレシキ。サーロは豚の脂身の塩漬けです。

菓子：シルニキは白チーズを使ったパンケーキ、キーウケーキはヘーゼルナッツやメレンゲやチョコレートなどを使います。



鳥：ウクライナを象徴する鳥はコウノトリ。アメリカで冬を過ごして春にウクライナへ帰ってくるコウノトリは、新しい命と平和の象徴で、家を守るお守りです。砲弾で破壊された民家の屋根にコウノトリが帰ってきたというニュースがありました。

花 :ウクライナの花はヒマワリ。ソフィアローレン主演の『ヒマワリ』はヒマワリ畑の映像が印象的なイタリア映画ですが、ウクライナで撮影されました。

赤い実 :ガマズミの仲間 *Viburnum opulus* (カリリーナ)のきれいな赤い実は、ウクライナのシンボルです。刺繍や切手、紋章の図柄などに使われ、カテリーナさんが所属した音楽団の「チェルボナカリリーナ」という名前も“赤いカリリーナの実”という意味だそうです。



相撲 :ウクライナには相撲連盟があります。女子も含めて結構強く、世界大会の国別メダル数は3位とのこと。元横綱大鵬の父親はウクライナ出身。大相撲では幕下で“獅司大”が活躍しています。

—— ご寄付ありがとうございました ——

つくばアサーティブの会
つくば・あつまれちびっ子 In 豊里の会
とよもりボランティア つくば自然農を学ぶ会
絵と歌と語りの集い

—— ご協力ありがとうございました ——

カテリーナ“平和を祈る”コンサート実行委員会（前橋市）
（有）情報センター（前橋市）（チラシデザイン提供）
（有）DFA フローリスト資格認定協会 松澤里美様（舞台・生花）
（有）ミュージックプラント（音響）
桜川市ゆめ紫峰の会（小麦の穂） ウクライナ大使館（資料）

協賛

人・夢・技術グループ株式会社
株式会社 長大

イラスト：伊藤くみ
チケット・プログラム：伊藤純雄



平和を願い
ウクライナの人々に思いを寄せる

**カテリーナ
バンドゥーラ コンサート**

